

阿蘇五岳の背比べに 鬼が手伝う?

その昔、阿蘇五岳が誰が一番早く高くなれるか背を競っていました。その結果、末っ子の根子岳が長男の高岳を追い抜いて一番高くなりました。しかしそれは阿蘇周辺に住む鬼たちに土を運ばせ自分の頭に積ませたというのです。これを知った阿蘇大明神が激怒し、根子岳の頭を何度も叩いたため、根子岳の頭はギザギザに尖ってしまったという昔話が語り継がれています。



阿蘇の鬼八伝説



阿蘇で鬼を語るうえで欠かせないのが「鬼八(きはち)」。阿蘇地方では神武天皇の孫にあたる阿蘇山の火山神、健甕龍命(たけいわたつのみこと)の由来といわれている鬼八には、様々な神話が語り継がれて、ゆかりの場所も多く存在しています。

阿蘇の開拓神である健甕龍命が的石に向かい、弓矢の練習をしていました。矢はなかなか当たらず、毎回落ちた矢を家来の鬼八に拾いに行かせていました。100回目に放った矢も的に当たらず立ち止まっていた鬼八が、拾った矢を健甕龍命に足で投げ返したことで、健甕龍命は腹を立て、山々を飛び回り逃げ回る鬼八を追い回し、捉えたのちに首をはねたといわれています。

首をはねられた鬼八はその恨みから阿蘇谷では霜が多く降るようになりました。その鬼八を鎮めるために行われているのが毎年8月の「霜神社の火焚き神事」です。ご神体の鬼八の首を暖める火を灯す火焚き乙女は地元の少女に毎年受け継がれ、2020年現在で2580代目ともいわれています。



宮崎県・高千穂の鬼八伝説

鬼八は、宮崎県・高千穂では、地方一の豪族の親分として語られています。高千穂町の高千穂神社には命と鬼八の彫刻があり、拝殿の角に、高さ約1.8mほどの命が鬼八を踏みつけています。また、高千穂には鬼八の胴や手足を祀る塚や、鬼八が持ちあげた、重さ200トンもの「鬼八の力石」等も存在します。



【高千穂神社】
〒882-1101
宮崎県西臼杵郡高千穂町三田井1037

※本紙の内容は、様々な資料や文献、言い伝えなどを元に制作されたもので、神話や言い伝えには諸説あります。

ASO ONI MAP2021



語り継がれる「阿蘇の鬼伝説」を巡る。



公益財団法人
阿蘇地域振興デザインセンター

〒869-2612 ASO DESIGN CENTER
熊本県阿蘇市一の宮町宮地 4607-1 TEL:0967-22-4801 FAX:0967-22-4802

阿蘇デザインセンター 検索

<http://www.asdc.or.jp>

■ 新型コロナウイルス感染症対策事業



ホームページ



Instagram



Facebook



YouTube



ASO DESIGN CENTER

【小国町】

火の神様 (電門の神)

〒869-2505 熊本県阿蘇郡小国町北里 371-1
昔の火事は電門から出火することが多く、木魂館近くの集落が見下ろせる高台に祀られた地元集落では、秋と冬に祭事が行われます。



鬼白彦山神社

〒869-2506 熊本県阿蘇郡小国町上田別所 1412
彦山の名のとおり、昔は修験道として宿坊もありました。近くには白の形の岩がありました。度重なる豪雨で被災し、現在は神社だけが残っています。



【南小国町】

押戸石の丘

〒869-2403 熊本県阿蘇郡南小国町大字中原
巨大な鬼が石を持ってきてお手玉を遊んでいたという昔話がある。大人気アニメの実写版映画のロケ地にもなったパワースポットです。磁気を持つ大きな岩など不思議な景色が広がる絶景の名所です。



御竈門山

〒869-1505 熊本県阿蘇郡南阿蘇村中松
火の国トンネルの南側にそびえる御竈門山。4月上旬にはクスマレが咲き誇る群生地で、秋から冬には一面美しいスギが見られます。



【南阿蘇村】

結縁の岩

〒869-1411 熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陰 3480-1
刀で斬ったように真っ二つに割れた様に見える岩は、よく見ると下部が繋がっている大きな一つの岩。恋愛や結婚など良い縁に恵まれるよう「結縁の岩」と名付けられ、パワースポットになっています。



十六羅漢窟 (鬼の目)

〒869-1411 熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字河陰 5265-11
旧久木野中学校の西南、羅漢岩の洞に祀られた十六の石仏。数百年前羅漢信仰が国内に広まった頃に安置されたもので、戦国時代に周辺のお城やお寺が滅び仏像だけが残り、宝永4年に有志らによってそれまでの木仏を石仏に改めて奉納したといわれています。



明神池鬼官兵衛記念館 (藤棚)

〒869-1503 熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字吉田 1394
西南の役の際に、薩軍から「鬼官兵衛」の名で恐れられた官軍の佐川官兵衛。住民から信頼も厚く「鬼さま」と慕われ、阿蘇で壮絶な戦死を遂げた後も官兵衛を偲ぶ記念碑が建てられ、彼の遺徳は今も村民に語り継がれています。隣に明神池には美しい藤棚もあります。



【西原村】

宮山神社

〒861-2405 熊本県阿蘇郡西原村富山 439
毎年11月23日に例大祭奉納される鬼人殿 (きじんどん) 神楽。鬼のような面を被った演者が子どもたちを (なまはげのように) 怖がせた後、神主と問答を繰り返します。



【産山村】

鬼の足形石 (御湯船温泉)

〒869-2705 熊本県阿蘇郡産山村大字産山 1488
久住に住む子鬼が人間の姿に化け、村に住む巫女と遊んでいました。夢中に遊んでいた子鬼ですが、節分の2月3日に、太陽が沈みはじめ鬼の姿に戻ってしまい、慌てて帰る途中で大きな岩に足跡を残していったといわれています。



【阿蘇市】

的 石

〒869-2237 熊本県阿蘇市の石 (県道149号線沿い)
阿蘇の開拓神である健甕龍命 (たけいわたつのみこと) が弓矢の練習の際に的にした岩といわれ巨大な岩の上部には弓矢の刺さった跡とされる穴があります。



霜神社の火焚き神事

〒869-2221 熊本県阿蘇市役所 1005
健甕龍命に首をはねられた家来の鬼八の恨みによって阿蘇谷では霜が多く降るようになるといわれています。そんな霜の害から農作物を守る為、鬼八の首を記する霜宮では少女が59日間にわたって火を焚き続ける火焚き神事が毎年8月に行われています。



【高森町】

上色見熊野座神社の風穴 穿戸磐

〒869-1601 熊本県阿蘇郡高森町上色見 2619
健甕龍命の従者鬼八法師が蹴破ったといわれる縦横10メートル以上の大風穴があります。巨大な岩山を大きな風穴が貫いていることから、どんなに困難な目標でも必ず達成できる象徴として『合格・必勝』のご利益があると評判です。



【山都町】

高畑地区 鬼ノ門

〒861-3934 熊本県上益城郡山都町高畑
9万年前の阿蘇の大噴火でできたといわれる、高さ7m・周囲10mほどの大きな2つの自然石。断崖上にそびえ、今にも鬼が出てきそうなお城から昔から「鬼の岩門」とも呼ばれています。



『美しい藤の花には毒がある!?!』

話題を呼んだ「鬼退治」の漫画では、藤の花が鬼に効く場面が描かれています。藤の種子や樹皮には毒性成分があるとされ、藤の花は強い日差しのある場所を好むことから、「明るいとこを嫌う鬼が苦手」と描かれたのかもしれませんが、阿蘇地域でも滝のように下に垂れさがる藤の名所があります。美しさの中に、鬼を近づけない不思議なパワーが秘められているかも。

高森中央小学校の藤棚
〒869-1602 熊本県阿蘇郡高森町高森 1100



鏡ヶ池 (小国町役場付近)
〒869-2501 熊本県阿蘇郡小国町宮原 1604



蘇陽・倉木山塚野神社
〒861-3928 熊本県上益城郡山都町長谷

